

体を動かし知識を深める 目指すは文武両道の森林ボランティア!

ちば森づくりの会 (千葉県)

市主催の講習会修了生が集まり
森林ボランティア団体を結成

会がスタートしたのは平成十三年のこと。千葉市主催による森林ボランティア研修の修了生が集まり「千葉市森林づくりの会」が立ち上げられました。その後、平成十七年にはNPO法人化し、「ちば森づくりの会」と改称。現在は二〇代から七〇代まで、約八〇名の会員が在籍しています。主な活動としては、千葉市指定の里山や千葉市市有林をはじめ、個人が所有する森林の整備。その内容も植栽、下草刈り、枝打ち、間伐、その他竹林改良や荒廃林の整備などと多岐に渡ります。

「会の設立に千葉市が関わっていることもあり、市からは多くのサポートをしていただいています。千葉市の森林組合から森林整備の依頼があるおかげで、十分すぎるほどの活動の場があります。フィールドが決まっているわけではなく、あちこち渡り歩いて活動するなかで、さまざまな特徴をもつ森林に接することができました。また森林ボランティア活動の拠点として、市がログハウスを建ててくれました。建設作業は専門家の指導のもと我々が行いましたが、技術習得の絶好の機会になりましたね。やはりボランティア団体だけの活動には限界があります。その点、私たちはとても恵まれていると思います」と、理事長を務める坂本彌さんは語ります。



専門家の指導のもと会員が力を合わせてログハウスを建てました

ここなら安心して任せられる
信頼につながるブランド力を求めて

「木を勇ましく伐り倒しているせいか、体育会系のイメージを持たれがちですが、それだけじゃいけない。私たちは文武両道を目指しています」

と坂本さん。二か月に一度、県の森林林業施策「枝打ち」など、行政の動きから個別の施業技術までの勉強会を行っています。技術と知識、その両方を習得したいという思いの先には、会のブランド力を高めたいという



上：林地残材をチップ化する
 中：残雪のなかヒノキ林の枝打ち
 下：竹の伐採も大切な活動の一つ



上：産業まつりで販売する、切り株の椅子を製作
 下：男女問わず活動に参加できるアットホームな会

願いがあるそうです。
 「ちは森づくりの会に任せれば安心だ、あそこ
 に相談したらきつとよい知恵を貸してく
 れる、そんなふうに信頼してもらえらる団体を
 目指しています。ブランド力を高めることに
 よって、発信力も高まる。より説得力をもつ
 て、私たちの意見を行政や社会に届けること
 ができるのではないかと思うのです」
 森林保全に対する熱い思いを語る坂本さん
 将来を見据えた文武両道の活動が続きます。

data

〒 264-0015

千葉県千葉市若葉区大宮台 5 28 10

☎043-262-9376

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~chibamoridukuri/>